



ルー
テル

藤が丘だより

発行 月報委員会

発行日 2023年12月3日 No. 115

わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、
わたしにしてくれたことなのである。

マタイによる福音書 25 章 40 節 ・ 新共同訳



宣教 40 年の旅 -100%感謝して-

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。

テサロニケの信徒への手紙一 5 章 16-18 節 a

ルター派キリスト教会 日本福音ルーテル藤が丘教会 牧師 佐藤和宏
〒 227-0043 横浜市青葉区藤が丘 2-31-21 tel 045-973-2729/ fax 045-439-7009
URL:<https://www.jelc-fujigaoka.org/> mailto: fujigaoka@jelc.or.jp



シリーズ説教

「御手のうちに」

佐藤和宏牧師

マタイによる福音書 25 章 31-46 節

今月より女性会連盟が発行する聖書研究において、新しいシリーズが始まりました。その「前置き」という箇所、次のルターの言葉が紹介されていました。それは「すべてのものは神の絶対的必然性によってなる」というものです。私たちは良いことがあれば、神の恵みだと捉えることが容易にできるでしょう。一方困難の中に置かれる時、人はその現実を受け止めることができず、神はおられるのかと疑うのです。しかしルターは「すべてのものは神の絶対的必然性によってなる」、と言っているのです。つまり良いことばかりではなくそうでないことにも、大切だと思われることばかりでなくつまらないと思われることにも、神の御心はすべてにおいて働いているということです。私たちの目に、無意味と映るような事柄にも、悪いと思われる現実にも、神は意味を与えておられるということなのです。そして次のように説明が加えられています。「聖書はこの言葉に表されている神の支配を宣べ伝えている。神の支配は神の意志と絶対的必然性が支配する世界。人間的な思惑や計画が無効となる世界」。この説明を、ひとりで表すなら、私がよく用いる「神が主語」となるでしょう。神が主語となってなることが、絶対的なのであり必然なのであり、その世界において人間の思いや計画というものは決して主語とはならないということです。さらに言うならば、人の行ったことに応じてその人に悪いことが起こるようなこともなく、その人が役に立たないと見捨てられるようなこともないということです。すべてにおいて、神が主語なのであり、それが絶対的であり必然なのです。すべての存在が神によるということなのです。

第二の朗読でお読み頂いた、エフェソの信徒への手紙 1 章 23 節で次のように言われていました。「教会はキリストの体であり、すべてにおいてすべてを満たしている方の満ちておられる場です。」

聖書を通して示される、キリストのまなざしは、人々を深い憐れみのうちに迎え入れ、キリストの手は人々を癒やし、キリストの足はあらゆるところに出かけて行って人々に出会い、寄り添ったことを明らかにしています。「教会はキリストの体」という場合、私たちの交わりもキリストの手となり足となって、人々に神の愛とその憐れみを表すことが期待されているということなのです。そしてその私たち教会は「すべてにおいてすべてを満たしている方の満ちておられる場」と言われています。ここで言われている「すべてにおいてすべてを満たしている」とは、先に触れたルターの言う「すべてのものは神の絶対的必然性によってなる」ということに重なるのだと思います。私たちの交わりのうちに、神の絶対的必然性が満ちているということです。それはすなわち教会という私たちの交わりは、「神の支配は神の意志と絶対的必然性が支配する世界。人間的な思惑や計画が無効となる世界」を、どこよりも明らかにされている場であるということでしょう。ですから私たち教会の交わりにおいて、私たちは神の絶対的必然性に信頼して、ただキリストの目となり手となり足となって、すべての人々に支えて生きるのです。こうして教会暦の終わりにあって、私たちは安心して、希望のうちにキリストの再臨を待つことができるのです。これが「御手のうちに」、安心して生きるということなのです。(永遠の王キリスト)

聖句に生かされて

○藤○子

仙台教会で、アメリカ人宣教師クヌートソン夫妻から頂いた「愛はすべてを完全に結ぶ帯である（コロサイの信徒への手紙 3 章 14 節）」の聖句が彫られた板盤が玄関に置いてあり、この聖句は、毎日見ている私の頭の中に入っている。

昭和 48 年、夫の転勤で仙台へ。初めての土地。仙台からバスで 30 分のベッドタウン将監団地は転勤者が多く住む公団住宅で、そこで夫の同業者の家族と知り合い、奥さんがクリスチャンだったので仙台教会へ一緒に行くようになった。

その教会は数人の集まりで、心和むホットファミリーの交わりだった。若い杉山先生はよくギターを弾き、「禁じられた遊び」を聞かせてくれたり、車で岩手県のキリスト伝説の洞窟を観に行ったりした。クヌートソン夫妻は自宅を解放しての食事会を開き、和の文化をアメリカ式に変える、その生活様式にびっくり。テーブルの上に名古屋帯を敷き、田舎を歩いて頂いた桐箆を洗ってマヨネーズで磨いたと説明された。江戸火鉢にはガラス盤

を置き、中に小さな人形を並べ、夢のような田園風景だ。娘さんが日本の高校で焼き物を勉強したと、古伊万里の皿を 2 枚下さり、今も大事に使わせて頂いている。

昭和 53 年、夫が本社へ戻ることになり、約 6 年間過ごした仙台とお別れしたが、未知の仙台に不安があったのに、教会の友、子どもの学校関係の友から沢山の愛を頂き、リトル東京の仙台が忘れ難い土地となった。

クヌートソン夫妻が、豊田市の拳母教会へ移住したと聞き訪ねて行くと大喜びで歓待され、夜遅くまで話し、翌日は紅葉で有名な香嵐溪、足助を案内して下さり、日本にこんなに美しい所があるのだと教えられた。

老後はアメリカでミネソタへ帰って行かれた。

「愛はすべてを・・・」「隣人を愛しなさい」

いつも覚えながら、生かされていることを感謝する日々を送っている。反面、地球上で悲しい出来事が続き、傷ましい子どもたちの泣く姿が毎日報道されると、夫の戦争中の悲惨な話が思い出され「どうぞ神様お救い下さい」と祈り、一日でも早く平和が来ますようにとまた祈る。



「もみの木と私」

○越○子

子供の頃、12月のクリスマスの季節が来ると、小さなツリーを母と飾った。クリスチャンの母はいつも、「オウ、タネバウム」と何語かわからない意味不明なカタガナ語で歌っていた。プロテスタン系の中学校に入学して校歌を聞いた時に何と母がいつも歌っていたクリスマスの曲と同じメロディーの校歌だった。もちろん、歌詞は意味不明でもなく、日

本語だったが。その年の12月、そろそろクリスマスの讃美歌や全校生徒揃ってのハレルヤの大合唱の練習が始まろうとした時にあの懐かしい母の歌と学校の校歌と同じ曲を音楽部が練習していた。オウ、タネバウムはドイツ語のもみの木で「もみの木、もみの木」とクリスマスの頃には歌われていて、教団讃美歌の中にもあり、学校でも毎年歌われた讃美歌であった。

母の意味不明な歌はれっきとした讃美歌でもあり、校歌でもあり、クリスマスソングだったと言う繋がりがわかり、12月になると母の歌声を懐かしく思いだす。

今から30年以上前、ベルリンの壁がなくなり、ドイツが一つになった時、今度は本物

のもみの木が私の前に現れた。転勤先のドイツで三人の娘たちとクリスマスツリーを買いに行ったら、本物のもみの木しかなくて、無理やり車の中に押し込んで持って帰り、飾りつけをした。本当のもみの木を初めて見た娘達は大喜びで今は私にとっての思い出の一つである。今はよくわからないが、当時は翌年の1月に歩行者道路の一角にもみの木の捨てる場所が設けられて出番を終えたもみの木達が山のように積まれていた。

ドイツでの最後のクリスマスもやはり、本物のもみの木を買いに行き、クリスマスを家族で祝った。この時のもみの木は捨てるには行かずに庭の片隅に植えた。どのくらい大きくなったかはわからないけど。

「NATURE FIX - 自然が最高の脳を作る」

○木○子

「野外で過ごす頭が冴えた気がする？
それは気のせいではありません」

今、世界の科学者達は、自然が人の気分や思考力に及ぼす影響を科学的に数値で示そうとしています、と謳う興味深い本に出会いました。

自然の中にいるとリフレッシュされるという感覚は、誰もが知っています。私自身、早朝散歩で、凍るような空気をまといながら家を出る時の気分から一転、帰宅直後は体と心の温度が上昇し、ちょっと緑の中にただけで気分がリフレッシュされるものだわ、とシンプルに感じていました。

しかし、著者フローレンス・ウィリアムズ（作家・ジャーナリスト）は、そんな単純な感想以上に、もっと科学的なアプローチと根拠に興味を持ったようです。この本「ネイ

チャーフィックス」によると、自然の中で歩くなどの行為は、ストレス低下、心と脳を回復させ、注意力、創造力、記憶力を向上させ、認知機能も改善してくれるそうです。私がシンプルに解釈した自然が人にもたらす快適さは、科学的に立証された効果であるとは嬉しい驚きでした。

著者は、山間の自然豊かな土地に長年住み、その後大都会ワシントンDCに移ったときに自らの身に起きたうつ症状が「自然欠乏障害」から由来するものかも知れないと分析し、果たして自然欠乏障害を裏付ける科学はあるのかと調査を開始しました。2年の歳月を費やし世界各国の研究者を訪ね、例えば、森林ウオークの前後に、血液、心拍数、血圧、ホルモン値の測定、あるいは脳活動を測定するために前頭部にセンサーを装着するなどして、様々な研究に参加してこの本を書き

上げました。

さらに興味深いのは、彼女が当時最初に訪れた研究者は日本人、森林浴（森林セラピー効果）の研究をしている、千葉大学の宮崎良文教授であったことです。彼は、国から公的研究費（森林セラピー）の交付を受けた、森林総合研究所に所属している生理人類学者です。

驚いたことに、日本に森林医学を専門に研究する医師がいるのは、世界的にみてとても珍しいことだそうです。しかしこのような実態の背景にあるのは、「日本人が世界的にみて如何にストレスに晒されているかの表れである」と彼女が語っているのは、ちょっと残念な事実です。

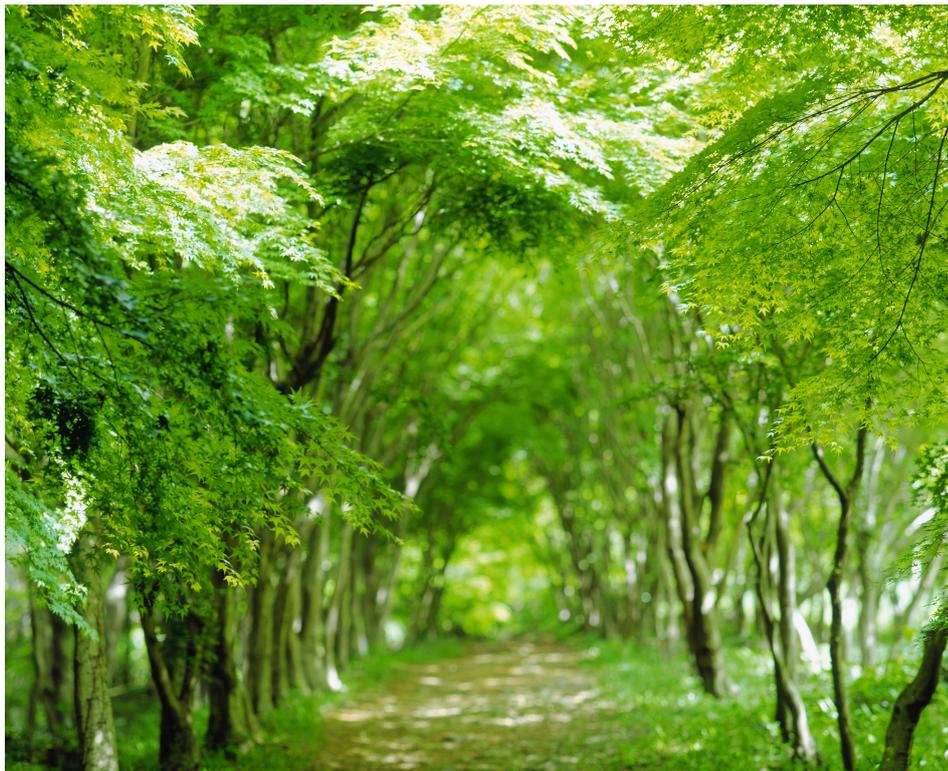
ひと鉢の観葉植物、公園の緑、果ては大自然の絶景などを愛でる行為のみならず、聴覚的な‘鳥のさえずり’や‘水のせせらぎ’の効果も、科学的に立証されています。また、雨上がりの地面から立ち上るあの土の臭いの原因となる物質は、土壤に含まれる有機化合物、

抗生物質に欠かせないストレプトマイセス属（とかいう）細菌によって産出される臭いで、人間はごく微量でもその臭いを嗅ぎ取れる能力があり、渴いた祖先はそれによって水のありかを知ったそうです。現代に生きる私たちも、だからその臭いで気持ちが安らぐ、これは嗅覚的な効果の一例です。これらはほんの一部で、この本は様々な検証とエビデンスで、私たちに新しい気づきを与えてくれます。

著者はこの本の最後で、「これまで学んできたことから、わたしは極めてシンプルな結論を出した。できるだけ頻繁に外に出ること。時には雄大な自然が広がる場所に出かけてゆくこと。1人でも友人とでも構わない。そして、深々と自然の空気を吸うこと。」と語っています。身近にある自然と仲良くして、小さなことから実践してゆく価値は十分にありそうです。

以上

*タイトル「NATUREFIX-自然が・・・」は原題のママ。



●女性会だより

11月19日 13名出席

司会、祈り 市〇姉／讃美歌 394番

1 聖書の学び

マタイによる福音書 3章16節

“私達が生きていることは当たり前”という生活にも、良い時にも悪い時にもすべて神様のご計画がある。ルターが言った言葉に「すべてのものは神の絶対的必然性によってなる。」という言葉がある。祈りは大切な働きである。

2 女性会例会

①連絡事項

東教区女性会総会 2024年2月10日。ルーテル学院大 トリニティホール

女性連盟総大会 2024年6月8-9日。東京教会
時間などの詳細な情報はわかり次第お知らせする。

ほしくずの会よりマスクの献品の依頼について（信徒の皆様へ呼びかけをする。）

②アンケート結果報告

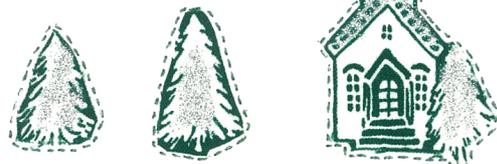
東教区女性会からのアンケートについての他教会女性会の意見が記載された文書の配布。秋の女性の集いでグループ別の話し合いについて〇田姉、〇山姉、〇越より報告。

③2023年度クリスマス献金について 配布先、金額についての協議。

次回例会は12月17日 女性会総会

2日 〇野〇之兄 5日 渡〇功兄、高〇〇〇〇子姉 8日 〇仙〇姉 12日 〇藤〇子姉 17日 〇井〇樹兄 18日 永〇〇子姉 19日 〇林〇太兄、山〇〇子姉、〇野〇兄、〇林〇子姉 20日 吉〇〇杷子姉、小〇めぐ〇姉、〇嶋信〇兄 〇田〇生兄 21日 毛〇〇子姉、〇井信〇兄、〇〇子姉、〇谷〇一郎兄、五十〇〇兄、〇山〇明兄 22日 〇〇川〇間〇恵美姉、田〇〇姉、市〇〇江姉、〇元〇子姉、〇元〇子姉、大〇〇雪姉 23日 〇田と〇子姉、〇岡〇子姉、小〇美〇子姉、〇飼〇一兄、〇藤〇兄、〇〇子姉、伊〇〇兄、〇野〇兄、〇野〇兄 24日 〇村〇子姉、〇谷〇子姉、〇野〇子姉、〇野〇洋兄、〇野〇洋兄、〇野〇希姉、〇山〇郎兄、〇山〇子姉、〇山〇姉、〇山〇兄 25日 〇木〇子姉、〇村〇子姉、〇岡〇子姉、〇原〇〇子姉、〇原〇太郎兄、〇越〇子姉、〇本佳〇兄、〇藤〇実姉、〇嶋〇美姉、定〇〇子姉

今月、受洗記念日を迎えた方々
おめでとうございます。



「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。」
テサロニケの信徒への手紙一5章16-18節a
●藤が丘教会の情報は、右のQRコードから。



●牧師室より



宣教40年の一年を「感謝」と共に歩んでまいりました。城南神奈川地区会の新しいビジョンから生まれた教会です。その感謝を地域の方々に仕える教会となることで、地区の皆さんに表したいと歩んでまいりました。高齢者支援プログラム「虹のひろば」が定期的に関催、定着しています。子どもプログラムとしてCSにも、子どもたちが定着しています。11月には祝福式をし、またアドベントカレンダーをプレゼントしました。それぞれ教会の働きです。皆さんのお祈りとお支えを、よろしくお祈りいたします。

引き続き、病床にある方々、また介護するご家族皆さんの健康のためにお祈りいたします。（佐藤）



スマートフォンで、こちらのQRコードを読み込むと、教会のさまざまな情報を、確認出来ます。